

東部中学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

- ・本校は、「生徒主体」を学校理念として、E S Dを主体的に社会参画を図っていく機会と捉え、E S Dの実践を通して、コミュニケーションを行う力の育成を目標とした。
- ・具体的には、他者との協力、つながりの尊重を柱に、①交通安全、地域緑化に関わる活動、②あいさつに関わる活動を行った。

・活動の実際

① 交通安全、地域緑化に関わる活動（全校生徒）

「他者との協力」を掲げ、本校では交通安全活動である「S T O P 運動」、地域緑化活動である「フルフルF L O W E R プロジェクト」を行った。

「S T O P 運動」では、校区地図をもとに危険な箇所などをパワーポイントにまとめ、全校に説明をしながら交通ルールの遵守や安全への意識向上を呼びかけた。また、地域緑化活動である「フルフルF L O W E R プロジェクト」では、校区の小学校とのオンライン会議を繰り返しどのような方法を取ることが実現可能であるかを考えた。校内にたくさんの花を植えるだけではなく、今後は

地域自治体など連携し活動を行っていききたいという話になった。自分たちの暮らす地域社会を基盤に、よりよい社会づくりのために社会参画を図っていくことの大切を感じさせていきたい。



② あいさつに関わる活動（委員会、P T A 活動）

「つながりの尊重」を掲げ、本校ではあいさつ運動を行った。地域自治体やP T A、校区の小学校と連携し、校区全域でのあいさつ運動を展開した。本校生徒が意欲的にあいさつし、この活動を主軸となって盛り上げていくために、委員会と協力し放送での呼びかけを行った

り外国の言葉でのあいさつをしたりするなど、全校生徒が関わられるように工夫をして活動をした。また、よりよい校区活動を



地域自治体・P T A・校区小学校と連携したあいさつ運動

広めていくことを目的とし、校区の小学校と連携し新たにキャラクター候補を公募し投票で「TNP 母ちゃん」というキャラクターを決めた。TNP 母ちゃんの優しく、温かな雰囲気のように、あいさつを通して、コミュニケーションのつながりの大切さにふれていけるような活動をこれからも続けていきたい。